

# 菊池学園 だより

第49号  
令和4年度第12号  
2022年  
12月5日



先生インタビュー

学校訪問・取材特集号

## 「豊かな対話の基礎を育てる」

今回は、11月10日に訪問した枝川小学校について紹介します。



枝川小学校 2年2組  
担任 塩田由奈先生

【授業内容】  
5時間目 国語 42頁  
「ことばあつめ」



「教科書・ノート・下敷き・筆箱が揃った人は立ちましょう」始業チャイム後、**切り替えスイッチ**が入ります。



早いね!すばらしい。

めあてを、2回言って黒板に書きます。2回聞くだけで書けている子もいました。**書くスピード**も心掛けています。



友達の意見を見るのも勉強だよね!

ノート交流の様子



交流後「あっ! 思いついた!」とノートに書き始める子

Q. 交流がスムーズでしたね。何か工夫したことはありましたか。

A. 自由交流は、1学期の途中「道徳の授業」から始めました。

最初は自分から行けない子がいましたが、「仲の良さは関係なく、一人でいる子を見つけて行けたらいいね。」とできている子を価値づけたり、交流の後「友達の意見を言える人?」と聞いたりしました。

Q. 友達の発表もしっかりきけていましたね。  
学び合うために意識していることはありますか?

A. 学級に「耳と目と心できく⇒おうえん」という価値語があります。  
授業中も、「きくときは、相手の目を見て!」と声をかけました。



価値語が習慣に!



学び合うための基礎になる「きく」ことを徹底しながら、友達と意見を交流させています。

ノートの振り返りには、先生からのほめ言葉がありました。

# 全校「話たい!ム」とはどんな活動かな?

## 先生インタビュー

授業づくり部 野村美和先生にお聞きしました。

Q. 「話たい!ム」を始めたきっかけを教えてください。

- A. 1学期の振り返りで、対話が広がらない、深まらないという問題点があがりました。  
自分の考えを伝える力や、相手の話を聞く力を高めるために、**対話の土台作り**が必要と考え、2学期から始めました。



1年生「話たい!ム」の様子

Q. 「話たい!ム」はいつ・どのようにやっていますか?

- A. 週2回、朝の会の時間に全校一斉に校内放送の合図で行っています。**時間は2~3分**です。  
ペアやトリオで向かい合い、「**よろしくお願ひします!**」から始めます。  
テーマに沿って、考えや理由を伝えた後、意見や感想、質問などを伝えます。  
話す時は最後まで、聞くときは、相手の**顔を見て頷いたり反応**したりしながら聞くように呼び掛けています。  
最後は「**ありがとう!**」を言って終わります。  
放送の最後には、次のテーマを知らせて、話したいことを考える時間を持たせます。

塩田先生の学級では、話す方におじゃみを持たせ、会話のキャッチボールが続くように工夫すると、やりとりが10回以上続いたそうです!



## コミュニケーション力 = (内容 + 声 + 表情・態度 + α) × 相手軸

### コミュニケーション 温かい人間関係

内容	伝わりやすい構成 (事実+気持ち)
伝わりやすい文	短文 接続詞(助詞) 呼びかけ・問いかけ 文末
プラスの言葉	価値語 四字熟語 ことわざ 慣用句
具体的な表現	数字 固有名詞 会話文 5W1H 色 形
具体的な表現	比喩 擬態語 擬音語 修飾語を重ねる

声 ちょうどよい大きさ、強弱 緩急 明るさ 等

表情 笑顔、視線 等

態度 姿勢、首のうなずき 等

相手軸 愛情、想像力、豊かな関わり合い 等

価値付け  
ポイントは無限∞

「授業を変えよう」(中村堂2022年) 「コミュニケーションの公式」より抜粋

# 全校「話たい!ム」とはどのような活動か

## 話たい!ムの《ねらい》

- ・話す力をつける。
- ・聞く力をつける。
- ・雑談力をつける。
- ・一方通行でなく相互に話す・聞く体験を積む。
- ・返事、質問、感想を言うことができるようにしていく。
- ・誰とでもしゃべることができる関係性を築く。



1年生「話たい!ム」の様子

## 話たい!ムの《テーマ》

- スタート時は、低学年でも話しやすいもの
- ・好きな食べ物 ・苦手な物
- 行事が近づく頃には行事に絡めたテーマ
- ・運動会の練習で頑張っていること
  - ・音楽会で頑張ったこと
- 季節感のあるテーマ
- ・秋→やってみたいスポーツ ・好きな果物

## Q. どのような効果を感じますか？

- A. 授業中、対話の時に、スムーズに取りかかれるようになってきました。
- その他にも効果を実感しています。
- ・なかなか話をしなかった児童が話せるようになってきた。
  - ・朝リラックした雰囲気ですスタートできる。
  - ・普段あまり話さない人とも話ができている。  
(好き嫌いで話をする、しないなどが無い。)
  - ・語彙が増えてきているように感じる。
  - ・決められたテーマに沿って話す練習になる。
  - ・何を言おうか一生懸命考えている。



古谷校長先生は、「マスクで相手の表情が見えない状況で、普段の何気ないおしゃべりや、雑談する力が弱まっていることを危惧して「話たい!ム」を始めました。続けていくうちに、これは、子ども達の心を開放する活動になっていると実感しています。」とおっしゃいました。

枝川小学校では、帰りの会のほめ言葉のシャワーだけでなく、全校「話たい!ム」でコミュニケーションのトレーニングをしながら、子ども同士の温かい関係性を築いています。 (菊池学園担当)